

平成30年1月定例教育委員会会議録

③ 浜辺の歌賛歌

・スポーツ振興課

① 1月行事報告及び2月行事計画

9. 附 議 案 件
- (1) 議案第1号 北秋田市美栄集会施設条例を廃止する条例
の北秋田市議会提出について
 - (2) 議案第2号 北秋田市福田獅子舞伝承館の指定管理者の
指定の北秋田市議会提出について
 - (3) 議案第3号 北秋田市立合川学童研修センター管理規則
の一部を改正する規則の制定について

10. そ の 他
- (1) 北秋田市立小中学校平成29年度卒業式並びに平成30年度
入学式について

11. 会議録

佐藤教育長	定刻となりましたので、ただいまから平成30年1月定例教育委員会を開会する。本日は小林委員が学会出席のため欠席する。 では、はじめに署名委員の指名をさせていただく。本日の署名委員は佐藤委員にお願いする。
佐藤委員	はい。
佐藤教育長	次に、2番「前回教育委員会の会議録の承認」について、事前に事務局より配布されている会議録の内容に訂正等があればお願いします。12月定例会と、総合教育会議の会議録であるが、先に12月定例会会議録からお願いします。何かありませんか。
永井委員・佐藤委員・吉田委員	なし。
佐藤教育長	では訂正等はないようですので、12月定例会会議録については承認とさせていただきます。 続いて11月29日開催の第2回北秋田市総合教育会議会議録について訂正はないでしょうか。
永井委員・佐藤委員・吉田委員	なし。

佐藤教育長	では訂正等がないようですので、第2回総合教育会議会議録について、承認とさせていただきます。 続いて、3番「諸報告」。(1) 私、教育長の動静について報告する。 12月24日世界遺産登録推進秋田フォーラム。生涯学習課榎本学芸員が発表した。推進世界登録の推進専門家委員会の委員の東大大学院西村教授も参加して、この先の見通しやアドバイスを頂いた。本市からも沢山参加し、ワーキンググループの方々などが参加してありがたかった。市議会議員の方々も参加していた。1月1日元旦マラソン。220名参加。子供から大人まで沢山参加した。元旦から気持ちを新たにした。1月2日大太鼓叩き初めを初めて観た。普段は上町下町の共演はないようだが、この叩き初めでは4台の大太鼓が共演し、迫力があって感動した。市民の参加があったらもっといいと思った。7日郡市中学校クロカンスキー大会。小学校大会もあり2日間の日程の2日目にあたる。今年は全国大会が秋田県で行われることから、中体連のアルペン今年は郡市大会をやらないということで、合宿に変えるということであった。同日、綴子地区新春交流会。地域を支える婦人会パワーをひしひしと感じた。9日所員発表会。3名の所員発表と、心の病に学ぶことという題で秋田総合病院水俣先生から講演を頂き、充実した会となった。11日臨時議会はケアタウン指定管理者の選任について。教育留学については、八木煌太君が昨年長期留学で来たが、また来たいということで大阪から来る。大阪から親御さんがそのために来るのも負担ということで、ネットを使って大阪の保護者との面談をするという新しい試みを行った。お母さんが北秋田市の留学に感謝していて、煌太君が留学で大きく変わって、具体的には自分で洗濯をするようになったと。家の仕事はしたことがなかったが、茶碗を下げるとかの手伝いを積極的にするようになり、宿題のほかに家庭学習をするようになって、授業の中でも積極的に発表するようになった。留学のせいで困ったことはないかと伺うと、合川小で身についたことをやると冷やかす友達がいるようだが、秋田式だからと冷やかに打ち勝つようになり、逞しくなった姿がうれしく、本人がまた秋田に行きたいということで、是非参加させたいと思ったと。現在合川小学校5年生に入っている。長期留学はこのほかに3人いて、合川小4年2人、5年2人の計4名が来ている。14日沢口地区新春交流会。中央小学校の児童による祇園太鼓で幕開けし、子ども達も活躍した会であった。17日文部科学省発表事前発表会。文科省主催の事業で、合川中学校が全校対話集会での実践を発表した。秋田県からは合川中学校1校だけ。模造紙大の資料を使ってポスターセッションを行った。質問の中で合中に、全校の集会で話が出るのか、出ないときはどうするか、の質問に対して、2年生の新生徒会長が、ペアになったりグループになって話し合って話を出していると答え、まさに授業で実践していることを全国に発信できたと感じた。参加者は感激していたと報告があった。いじめ対策の集会であったので、本市ではこうした形でやっているということを発表してくれ
-------	--

佐藤教育長	た。実際に行われたのは1月20日。18日鷹巣南中保護者説明会。新1年生が中3の時に鷹中に統合するという事で、保護者にその旨を説明した。事前に保護者から質問を受けていて、それに課長が答える形であった会なので、その場では質問がなく、そうかという雰囲気であった。20日絵本ライブ。全国的に活躍されている安藤哲也さん、安藤パパの絵本教室だったが、子ども達も参加したが参加者が少なかったので、生涯学習課担当には手立てをしないと話しているところ。同日あきた北空港学童クロカンスキー大会。219名参加。ジュニアオリンピック全国大会に、この大会の5、6年生4位までの入賞者が出られる。21日森吉地区婦人会新春の集いに講師で参加。1時間位の講演をした。22日リフレッシュ学園3学期始業式に7名の児童生徒が出席。このうち、新たに1名、五城目第一中学男子が体験で加わっている。23日市議会常任委員会学校訪問。前に小規模校を見たので、今度は大規模を見たいとして鷹巣中学校の訪問であったが、インフルエンザで1、2年が学年閉鎖であった。3年生の授業を見て、学校長から学校経営の説明を受け、議員からの質問にお答えする形で行った。インフルエンザ状況は学校教育課長から後で報告があるが、鷹小が学級閉鎖、中央小が学年閉鎖、合川小も学年閉鎖、阿仁合小は明日休校。全校27名中10名が欠席し、うち9名がインフルエンザ。鷹巣中学校は学年閉鎖を終わって再開したが、まだまばらな状態。森吉中学校は今日まで3日間の1年生学年閉鎖。インフルエンザB型が猛威を振るっている。一気に広まっていて厳しい状態が続いている。全校試験や受験に影響がないといい。スポーツ振興課職員にも罹患の報告もある。以上が私の動静報告である。ただいまの報告について皆様から質問ご意見を伺いたい何かあるか。
永井委員・佐藤委員・吉田委員	なし。
佐藤教育長	教育次長が、東京での児童クラブの発表のために生涯学習課担当とともに出張しているため定例会を欠席している。特に無ければ次に進む。(2)各課所管事項の報告。総務課から願います。
金澤総務課長	<1月行事報告> 資料のとおり。 ・1月22日 リフレッシュ学園始業式。 <2月行事計画> 資料のとおり。 ・2月9日県教育研究発表会。リフレッシュ学園矢旗教諭が発表。 ○別紙資料 総務課報告 資料のとおり。

金澤総務課長	(1) あきたリフレッシュ学園。 ・利用状況 学園生 14 名。変動無し。 ・体験入園 市外 1 名。 (2) 短期チャレンジ留学Ⅱ ・12 月 25 日～29 日、県外 4～6 年の参加者 33 名。インフルでなかったが、4 日目に発熱体調不良を訴える子供が数名おり、来年度は体調を考慮した体験メニューを検討しないとという課題を感じた。 (3) 教育留学推進事業 ・学習交流型、県外小学生男子 4 名。 ・生活改善型、県外、中学 2 年男子 1 名。 昨日の 1 月 23 日から来ているため、資料の 22 日を訂正する。この生徒は兵庫県から今年度 6 回目の留学である。
佐藤教育長	ほかの 4 名の小学生についても県名を。
金澤総務課長	小学 4 年生 2 名は神奈川県相模原市と大分県別府市。小学 5 年生 2 名は大阪府泉佐野市と大阪府和泉市である。
佐藤教育長	ただいまの総務課長の報告について質問や意見などがあればお願いします。 なければ次に学校教育課からお願いします。学校教育課からの報告の中で不登校やいじめなどに関する報告については、児童生徒のプライバシーに配慮し、内容を非公開としてよろしいか。
永井委員・佐藤委員・吉田委員	はい。
佐藤教育長	では、「不登校・いじめ」につきましては非公開とする。学校教育課長から改めて所管報告をお願いします。
佐々木学校教育課長	<1 月行事報告> 資料のとおり。 ・1 月 15 日 3 学期スタート。今年度から市の学力調査を年度初めでなく 3 学期始まりのすぐに変え、内容も到達度がわかるものに変えた。 ・1 月 30, 31 日 総務課長と二人で市の臨時職員校務員事務職員について面談し、健康状況、要望を聞く面談を予定している。 <2 月行事予定> 資料のとおり ・2 月 27 日 南中新入生保護者説明会。中 3 になる時の保護者の方には説明できたが、小学校の方には説明が詳しくできていないことから、2 月 27 日中央小で 3 学期末 P T A で時間を頂いて統合の見通しを、3 月 5 日南小

佐々木学校教育課長	学校PTAで同じく説明会を行う予定。就学前の保護者については、南保育園、中央保育園、しゃろーむ、鷹巣南保育園、七田市保育園の該当する保護者に、2月22日に沢口公民館で、今後の小学校についての見通しを説明したいと考えている。 ○別紙資料 学校教育課報告資料のとおり。 <1. 児童・生徒数> ・1月1日現在 1,839名。 増減無し。 <2. 栄光> ・わか杉チャレンジフェスティバル銀メダル 合川中3年杉渕雄介君。 ・全県中学校スキー大会 合川中が大活躍。 クロスカントリー個人男子優勝、個人女子も優勝と入賞。男子女子とも総合優勝。 <3. その他> ・全国いじめ問題子供サミット。教育長説明により省略。 ・平成30年度大館国際情報学院中学校と公立中学校の入学予定者数。 小学6年生で、大館国際情報学院中学校と秋田南高校中等部に行くと申し出でのあった4名。北秋田市中学校の学級数の影響はない。 ・1月21日、広島県会場の都道府県対抗駅伝で男子2区3キロ区間で鷹中の小松君が走っている。 ・1月22日鷹巣南中数学教育専門官堀内先生が、沖縄県石垣島で数学の授業をして石垣島の先生方が研修し、石垣島の先生方から、目から鱗で、大変勉強になったと手紙が届いている。堀内先生の方では秋田の子は意欲があると感じたということであった。次から非公開資料。 <事故報告・職員の異動> ・資料のとおり。 <不登校の状況> ・資料のとおり。 <秋田県学習状況調査> ・資料のとおり。
佐藤教育長	先ほど皆さんから賛同を頂いたので非公開とする。事務局でもそのように取り扱うように。ではただいまの学校教育課長の報告に質問意見等ないか。付け足すと、沖縄県石垣島の研修の報告を堀内先生から頂いた。堀内先生の前に地元の若いエースの先生が数学の授業をやって、そのあと堀内先生がやったと。地元の教師はずっと一方的にしゃべっていた。堀内先生は数学の概数の授業で、向こうの先生方は説明が多いから大変だと思っていたが、堀内先生は自分ではあまりしゃべらないで、子ども達に考えさせる授業を始めたため、参加した教員は驚いていた。こんなやり方があるというのでびっくり

佐藤教育長	したということで、向こうの教育長からお礼の電話が来ていた。秋田県には石垣市からも何回か研修に来ていたようだけれど来た人達のこうすればいいということが、向こうに行けば浸透しないという悩みを話されていた。専門監が行って授業をすると、みんなが見ているので勉強になったと。これを契機に、算数数学の研究会を作ろうとその場で県指導主事が言い、任意でやりませんかという呼びかけをして研究会ができた。うちの県では昔から各教科の研究会があって取り組んできたのという、仕組み上の違いがある。この後も要請があれば交流があるかもしれない。教育長には授業だけでなく、子供も連れてきて学校に入れると先生方の意識も変わると紹介をしている。こちらから石垣に行くということは旅費もないし無理だが、向こうは潤沢らしいので、来ることは拒まないと話した。 非公開の部分だが、北鹿新聞に、市議会議員が鷹中を訪問した時の遠藤校長の発言が載っていたが、議員にどの位の規模が適正かと聞かれて、私見だが全校 300～400 がちょうどいいと思うとされたのが新聞に載った。鷹中の不登校が多いのが課題であることも校長から話されていたので、規模が大きくなるとそういう生徒も多くなる現状であることを、その後で私から議員にしっかりと伝えたところである。県の学習状況調査の結果はすごい。今の中学 2 年の去年の英語の成績はどうだったか。
佐々木学校教育課長	去年のどの教科もこれほど飛び抜けてはいなかったと思う。
佐藤教育長	この前の鷹中の報告では 1 年の時は県平均に至らなかったが 2 年で県平均を越したという話であった。うちの市としても同様の分析をしてみしてほしい。先生方の指導が活きて子供に返っているとの裏付けがあればいい。今の小 6 の子どもは若干理科が弱いが中学校に入ってから回復できればいい。しっかり小中の連携を図って現状を中学校にもわかってもらって底上げする手立てを中学校で、あるいは小学校を卒業するまでに回復するように、回復指導をしっかりさせて、県の平均、点数ではないけれども、しっかり学びを身につけさせて中学校に出せるよう小学校の先生方に話してほしい。 それでは、皆さんから質問ご意見はないでしょうか。なければ、次に生涯学習課長から報告をお願いします。
宮腰生涯学習課長	<1 月行事報告> 資料のとおり。 ・1 月 11 日 冬の笑楽校 2018。小学生 29 名、指導者 11 人が参加。 ・1 月 20 日 安藤パパの絵本ライブ&講演会。 ・1 月 26 日 地域と学校の連携・協働推進研修会。北秋田市は前田放課後子供教室活動が全国の中から選ばれ、発表のため出席。

宮腰生涯学習課長	・1月28日 北秋田市文化財防火デー想定訓練。異人館。 ・1月28日 北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム。北秋田市学芸員が発表する。 ・1月29, 30日 北秋田市読書感想文・感想画コンクール審査会。表彰式2月24日。現在、感想文126点、感想画530点。 <2月行事計画> 資料のとおり。 ・2月9日 Gちゃんサミット パート6。国立市からも参加し、互いの研鑽、交流を図る。 ・2月18日 葛黒火まつりかまくら。 <平成29年度北秋田市文化祭アンケート> 資料のとおり。 演示では来場者の8割弱が女性。6割が70歳以上の方々。4割が市広報で文化祭を知っている。9割が開催時期を普通と回答。展示演示の同じ会場としたことに5割がよかったと回答。来場の半分の方が鷹巣。自由記載で様々な意見を頂いた。展示会場来場者は約7割が女性。年代は70代以上が4割だが30, 40代割合も多いのは子供の出演があるためと予想する。会場も半分以上が良かったと回答。 <「浜辺の歌」賛歌> 総合教育会議で吉田委員から話のあった浜辺の歌賛歌について調べたところ、昭和61年東北音楽教育研究大会資料原本があった。また、1993年平成5年の成田為三生誕100年記念演奏は森吉町主催であり、発表は米内沢高校で行われ2,300人が集まった。テープ音源は浜辺の歌音楽館にあり聞く事ができる。
佐藤教育長	生涯学習課全般で何か意見質問等ないか。吉田委員、よろしいか。
吉田委員	この楽譜でよい。
永井委員	すごいスケールである。
吉田委員	当時は小学校4、5、6年生で編成。大人も入って。
永井委員	集中してやると結構なレベルまでアップするのでは。
佐藤教育長	その当時の録音テープはあるか。

宮腰生涯学習課長	平成 5 年のテープは音楽館に保管されている。
佐藤教育長	昭和 61 年度のは。
宮腰生涯学習課長	ないようである。
吉田委員	個人でテープは持っている。自分が伴奏していたので。恐ろしくて再生できない。
佐藤教育長	構成をみると題名が変わっていて、いざないや波のたわむれとか森吉賛歌と。機会があったら一度聞いてみたい。平成 5 年、昭和 61 年のテープも個人的に聴いてみたい。
宮腰生涯学習課長	引き続き探してもらうようにする。
佐藤教育長	テープの音を CD に焼き付けてもらうとかして。 ほかに皆さんからご質問やご意見はないか。
永井委員	CD にしたときに、もし浜辺の歌音楽館で聞く機会を開けば出席する。
佐藤教育長	宮腰課長。聞く会のアイディアがあったので検討してください。
宮腰生涯学習課長	はい。
佐藤教育長	このあと浜辺の歌音楽館で今年度中に演奏会がある。2 月 24 日と 3 月に。何かの機会に。
宮腰生涯学習課長	スケジュールが一杯なので何かの機会に検討したい。
佐藤教育長	1 月 22 日グッドライフ講座には高橋さんという北秋田市出身の方が来て講演した。
宮腰生涯学習課長	米内沢出身で神奈川に住んでいる方でパイロット資格を持っている。松田生涯学習係長のご縁で講演して頂いた。
佐藤教育長	40, 50 代になってから挑戦して資格を取ったと。子供の時から夢をもっていて、ここに飛行場を作る、が実現した、高速道路も実現したと。もう一つは米内沢にデパートをつくるという夢が実現していないという話であった。森吉中学校時代、文化祭の時に模型を作ってランプをつくようにした

佐藤教育長	と。今、お母さんが鷹巣に住んでいて月 1 回状況を見に来ている。飛行機では来ない。ここに来るときセスナの燃料は秋田北空港にないために入れられない。途中、秋田空港か山形で給油しないと帰れないということの様である。そういった方が毎月来ている。子供たちにも機会があれば紹介したい。 来月のグットライフ講座は 2 月 14 日。大館の高橋秀一先生をお招きして東日本大震災震災地での活動を話して頂く。あれからずっと子供達の学習支援を週 1 回自費で続けてこられた実践を紹介して下さるのでお時間がありましたら参加して頂ければと思う。生涯学習課、よろしいか。 続いて、スポーツ振興課から報告をお願いします。
水木スポーツ振興課長	<1 月行事報告> 資料のとおり。 ・1 月 21 日 あきた北空港学童クロスカントリー選手権大会。 3 月 16～19 日ジュニアオリンピック県予選を兼ね、対象 3 名が派遣補助対象になる。 ・1 月 28 日 第 11 回北秋田市民スキー大会。少雪が心配されたが開催決定。参加者アルペン 44 名クロカン 112 名。昨年より減。 <2 月行事計画> 資料のとおり。 ・2 月 4 日 第 63 回北秋田学童スキー大会。参加者は、距離 36 名、大回転 22 名。 ・2 月 11 日 秋田県マスターズ水泳交流記録会。県正式大会。 ・2 月 25 日 県民歩くスキーのつどい。昨年 119 名の参加。 交通事故の報告。12 月 28 日、市長年末のあいさつを旧中央公民館で聞いた後、職員 5 名が乗った公用車が一時不停止の車に突っ込まれて車は大破した。けが人は無い。大事をとって 3 名が病院受診したが異常なしで職務に就いている。車の方は保険会社と話がまとまっていない。買うと 200 万かかる。現在はレンタカーを使っている。こちらとしては修理して使いたいが、修理も保険の範囲内で収まらないという話なので折衝している。
佐藤教育長	スポーツの方もよく頑張っていて、旧姓鈴木芙由子選手のオリンピック出場をはじめとして、北鷹高校は男女ともスキーのリレーで優勝、東北大会では女子が優勝している。全県大会では男子が優勝。いずれも全国大会にリレー出場できる。合川中のリレーが先ほど話で出たが、駅伝大会も東北駅伝、ソフトテニスも森中が活躍して全県で上位になっている。ジュニアも。多方面で子供達が活躍している。それでは、スポーツ振興課の報告に、質問や意見はないか。ないようなので次に進む。 続いて、次第 4 番の案件に入る。案件（1）議案第 1 号「北秋田市美栄集会施設条例を廃止する条例の北秋田市議会提出について」、お願いします。

宮腰生涯学習課長	<「議案第 1 号 北秋田市美栄集会施設条例を廃止する条例の北秋田市議会提出について」の説明>
佐藤教育長	ただ今の議案説明に対し、質問や意見など何かないか。ないようだが、承認ということによろしいか。
永井委員・佐藤委員・吉田委員	はい。
佐藤教育長	では、議案第 1 号は承認とさせていただく。続いて、(2) 議案第 2 号「北秋田市福田獅子舞伝承館の指定管理者の指定の北秋田市議会提出について」、説明をお願いします。
宮腰生涯学習課長	<「議案第 2 号「北秋田市福田獅子舞伝承館の指定管理者の指定の北秋田市議会提出について」の説明>
佐藤教育長	ただ今の議案説明に対し、質問や意見など何かないか。よろしいか。 福田獅子舞は 8 月に行われた市民俗芸能大会で演じてもらった。子供も入った、勇壮な楽しい芸能。是非、途切れないように活用して続けてくれればと思う。 質問等ないので、承認ということによろしいか。それでは、議案第 2 号は承認とさせていただく。 次に、(3) 議案第 3 号「北秋田市立合川学童研修センター管理規則の一部を改正する規則の制定について」の説明をお願いします。
金澤総務課長	<議案第 3 号「北秋田市立合川学童研修センター管理規則の一部を改正する規則の制定について」の説明>
佐藤教育長	ただ今の議案説明に対し、質問や意見など何かないか。
佐藤委員	なし。
佐藤教育長	ないということなので、議案第 3 号は承認とさせていただく。
佐藤教育長	それでは、次第 5 番 その他に移る。 (1) 北秋田市立小中学校平成 29 年度卒業式並びに平成 30 年度入学式について、説明願う。

畠山総務係長	<資料説明> 卒業式入学式への教育委員会出席者を割り当てさせていただいた。教育委員会出席者は祝辞等あいさつがあるのでお願いします。市長部局出席者は現在総務部総務課で調整中であるので、次回定例会で報告する。委員の皆様には改めて文書を差し上げる。
佐藤教育長	これについてよろしいか。
永井委員	従来通りということですね。
佐藤教育長	従来がわからないが。
佐藤委員	前に私は卒業式入学式について意見を述べたことがある。一つは、全然わからないところでなく、以前赴任したことがある学校に行くようにと。そこで、森吉中学校、鷹巣中学校、それもあって普段の活動がわからないままあいさつをすればいいものでないの、行ったことのある、活動のわかる学校に限って欲しいと話したことがあったが、また元に戻した形になった。これでもいいと思うが、前も話したが大館市では確か教育委員のお祝いの言葉はなくなったと聞いている。そういうことを考えないといけない時代になったと。
永井委員	新制度に移行したということで検討するとなればこの機会に検討した方がいいと思うが、従来通りということであれば、教育委員があいさつをするという形で継続する。
佐藤教育長	この機会なので皆さんからご意見を求めたい。これまでの経緯を知らないままの提案であったので。意見をいただいてまだ検討できる余地はあると思うが如何か。 まずはやるかやらないかのところで検討いただきたい。昔は告辞という形でやっていたが、それは、お祝いの言葉と、少し柔らかくしてお祝いするというスタンスに変えたというところ。そのお祝いの言葉も無くしてもいいかというところは如何なものであるか。
佐藤委員	私のところは鷹巣中学校、森吉中学校と勤務していた。あとは年1回の教育委員の学校訪問。学校の様子を頭に浮かべながら、スポーツ記事を思い出しながら話させていただいている。地元に行かないで森吉中、鷹巣中となったときに、地元だから、子供の様子が見れる、そういうのだと話しやすい。私としてはですね。他の方にとっては、永井先生は相当学校を回った。西小学校関係なしに、東小にも行ったし鷹小、鷹中、大変だと思った。あとは

佐藤委員	次長、課長方が行っている。これも大変な役目と感じながら意見を出させていただいた。
永井委員	その話をしているところへ、大館市では教育委員はお祝いの言葉の話をしていないという話題になったので、今後検討しようというところで終わっていたが、従来通りということであれば、卒業式入学式を終わった段階でどうするかを話し合ってもいいし、今ここで方向性を出しましょうということであれば小林先生がいらっしゃらないのでどうするのか。
佐藤教育長	経緯を伺っていなかったのでわからない中、従来通りと提示させてもらった。皆さんと検討するという課題であったとすれば、改めて皆さんと考えて方向を検討したほうがいいのではないかと。私が変わったところの変わり目であるので、もし無くすとすれば今回はいい機会でもあると感じる。吉田委員はどうか。
吉田委員	毎回同じ所に行くので、祝辞の内容を考えるのが大変。子ども達も2年くらいで同じ内容を聞いている。大丈夫な気もするがやっぱり変えないといけない。文章を作るという意味では大変。この先変わっていくのであれば、長い目で考えると無くてもいいのではないかと正直思う。あいさつを考えるのはすごく大変。
永井委員	県立高校の場合は、委員が来ると必ずあいさつがあるという決まりがある。教育委員会の立場で式典に出るときに、教育長も教育委員もと、一つのパターンがあるときに、吉田委員の様に、いろいろな職業の方が教育委員になられた時に、今の様な形で担当した者が文を考えて話すという風な今の形のままだと負担が大きいのではないかと。我々ができるということを言っているのではない。そうするものだという認識で今までは来たのだけれども。
佐藤教育長	たしかに昔は教育委員会で作成した告辞をあの場で公にさせていただくというそうした形の式であった。教育委員会の係。告辞ですからどこに行っても遜色なく話していただく事であったが、お祝いの言葉に変わった関係で、出た方が思いを話すとなると中々、学校との接点が少なければ言葉が出てこないというのは確かにある。
永井委員	気がかりなことは、地域の皆さんが教育委員会に対する認識が従来のまま継続している。私達は新制度に移行したという感覚だが、地域の方は変わっていない。どうして教育委員があいさつをしないのかと、いう風なことがあったとき、明確な答弁回答をきちんとすると。進行を進めるためということが、一番の理由にしかならないとすれば、教育委員会としてお祝いをする

永井委員	というのは当たり前でないかと言われた時に、どのように中止するかと、対応するのかという部分もある。そうすれば昨年同様にやった方が、むしろいいのかというところがある。反面、去年の様な意見もある。
佐藤委員	周りの意見とか学校の意見とか、そういうことを全然聞いていないので話なので、今急にというのは不安はあるが、周りからどう思われるかとか。
佐藤教育長	そういう段取りができていないので、校長会からも意見を聞いていないし、来月に校長会はあるが、教育委員会の中でこういう議論もあるということをお伝えながらやっていくのが、意見をまとめていけるという気がする。基本的に先ず今年度末の卒業式、来年の入学式は従来通りやっていただき、もう一度検討課題ということで、一年かけて関係の学校や保護者に少し話をしていきたい。
佐藤委員	大館と必ずしも一緒という形にはならないと思う。学校数が違うから。教育委員だけでは到底難しかったと思う。後で聞いていただいて。うちは、学校数が多いわけでないから手分けしてやっていけるということもある。
佐藤教育長	ある程度ひな形を学校教育課で作って皆さんにお持ちいただくということもある。皆さんでオリジナルでしゃべっていただくということもある。
佐藤委員	それは何回も言われているが、私の場合はいらないと言っていた。教育委員会の方から、ひな形はどうかと言われていて断っていた。
永井委員	ひな形は無いものとばかり。
佐藤教育長	学校でこんな事をやりましたという状況がある程度、6年生はこれを頑張ったとか、がわかるような。
永井委員	それは校長先生が式辞でお話しになるので、それを聞きながら「校長先生もおっしゃっていましたが」というように引用したり。
佐藤教育長	そういうことを考えると本当にお祝いの言葉だけになる。
吉田委員	私の場合はそうである。
永井委員	お祝いの言葉というところに集約をして、長くなくそれなりに。
佐藤委員	何をしゃべったらいいかわからなくて、校歌を歌ったりした人もいる。

佐藤教育長	それでは今年は従来通りでお願いします。
佐々木学校教育課長	総務の方で確か、毎年参考にするような案を配っていた。
吉田委員	課長達も学校に回られているとき、個人で作られていかれるのか。
佐々木学校教育課長	挨拶文例のようなものを総務から来ていて、参考にしてしゃべっていたと思う。
吉田委員	それをくださいというものではないが。
畠山総務係長	以前からのものはある。
佐藤教育長	蛇腹か。
畠山総務係長	蛇腹ではないが、蛇腹にもできるような縦書きのものがある。
吉田委員	ただの紙だと見た目が悪いので蛇腹にしている。
佐藤教育長	蛇腹を使う時は、ものは準備するので畠山係長にお話してください。 では、いまの卒業式入学式の件は来年度の懸案事項とする。今年は昨年度どおりということでよろしく願います。次に、(2) 次回の定例教育委員会開催日について事務局より願います。
畠山総務係長	次回の定例教育委員会は、2月22日(木)午後1時 文化会館を会場に開催を予定しているのでよろしくお願いします。
佐藤教育長	開催の時間は1時でよろしいか。1時半とか。
佐藤委員	1時でよい。
佐藤教育長	文化会館への移動の時間もあるが。
吉田委員	そうですね。
佐藤教育長	ただ小林先生の診療時間もあるので。

佐藤委員	診察は休みでないでしょう。
佐藤教育長	そこを確認した上で変更も視野に入れて、まずは１時で。変更ある場合は追って連絡する形にする。日にちは２月２２日をお願いします。畠山係長、臨時教育委員会の日程もお伝えした方がよいのではないかと。
畠山総務係長	臨時教育委員会は、３月１日（木）。その頃には旧中央公民館改修工事も終わって、式場を予定している。２月いっぱいには改修工事がある。時間は未定だが、午後に開催となるので予定を調整くださるようお願いする。
佐藤教育長	臨時会案件は教職員の人事になる。 それでは、次に（３）その他になるが、何かあるか。
宮腰生涯学習課長	それでは、来る３月１１日に宇崎竜童ライブがあるので是非チケット購入されお越しください。
佐藤教育長	ほかにはないか。ないようであれば、本日の会議の予定が全て終了したので、以上をもって１月定例教育委員会を閉会する。

（午後２時５１分 閉会）